

脱炭素社会の実現に向けた 大田区の取組 ～水素エネルギーの利活用～



大田区の計画等における水素の位置付け

2022年3月「大田区環境アクションプラン」を策定

➤ 「2050年度までの脱炭素社会の実現」を長期目標に掲げる

さらに、気候変動緩和策を推進する取組を強化するため「大田区脱炭素戦略」を策定

➤ 水素エネルギーへの転換、車両への活用が普及している将来像を描く

大田区環境アクションプラン（令和4年度～）

基本目標A 環境課題の解決に向けたパートナーシップの推進

基本目標B 気候変動緩和策の推進

➡

取組強化大田区脱炭素戦略（令和5年度～）

基本目標C 自然共生社会の構築

基本目標D 快適で安全な暮らしの実現

基本目標E 循環型社会の構築

詳しくはコチラ（動画）▼



（大田区公式YouTubeチャンネル）



大田区環境ビジョン2050

- ① 温室効果ガスの排出量実質ゼロ
- ② プラスチックごみゼロ
- ③ 食品ロス実質ゼロ

大田区の計画等における水素の位置付け

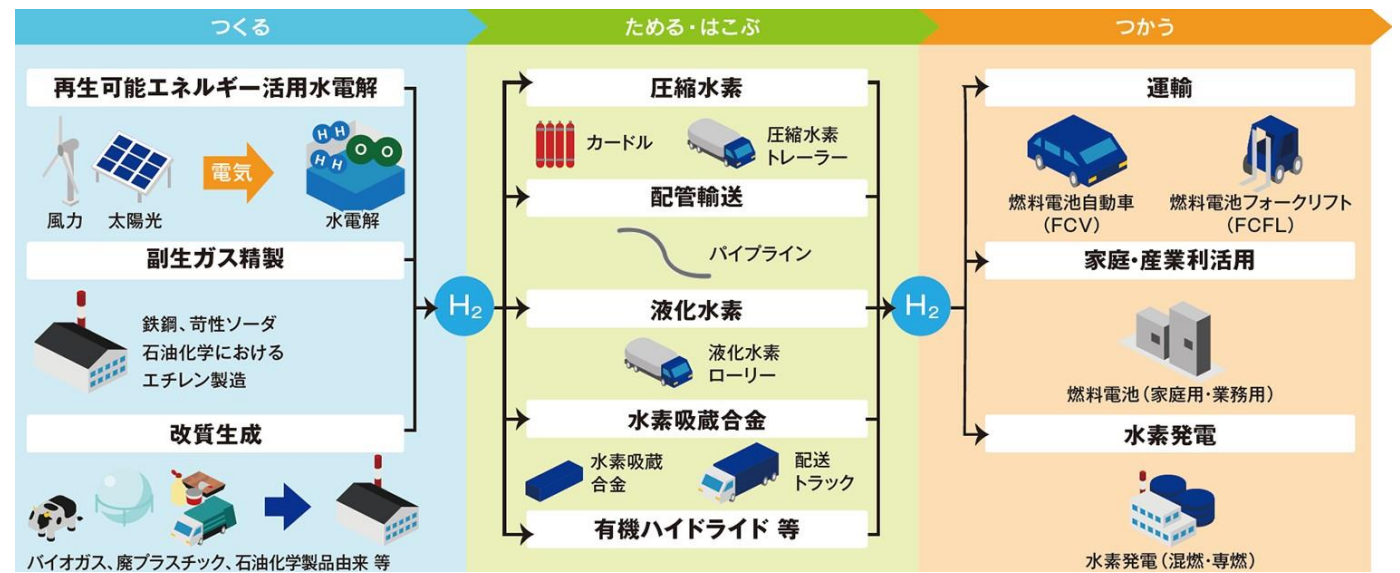
2022年3月に策定した「空港臨海部グランドビジョン2040」において、水素を重要な次世代エネルギーの一つとして位置付け



次世代エネルギーインフラの整備支援

- FCVなどの環境に配慮した公共交通機関に対応する次世代エネルギー供給ステーションの整備など、新たなエネルギーインフラの整備及び構築支援を行う

脱炭素化に向けた水素サプライチェーン

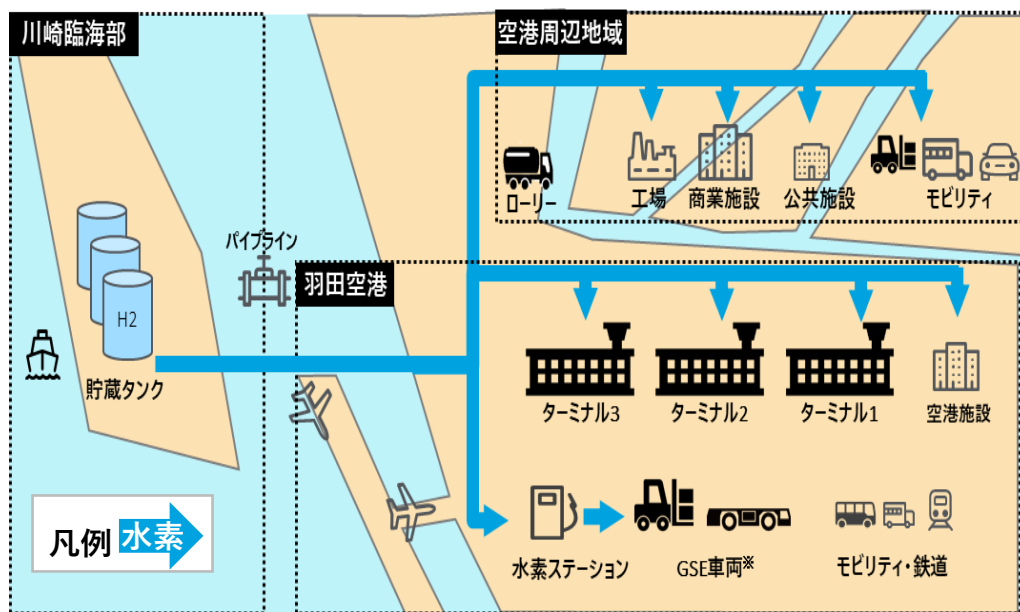


出典) 環境省「脱炭素化に向けた水素サプライチェーン・プラットフォーム」

「空港臨海部グランドビジョン2040」より抜粋

東京国際空港及びその周辺地域における CO₂フリー水素利活用モデル調査 (NEDO事業)

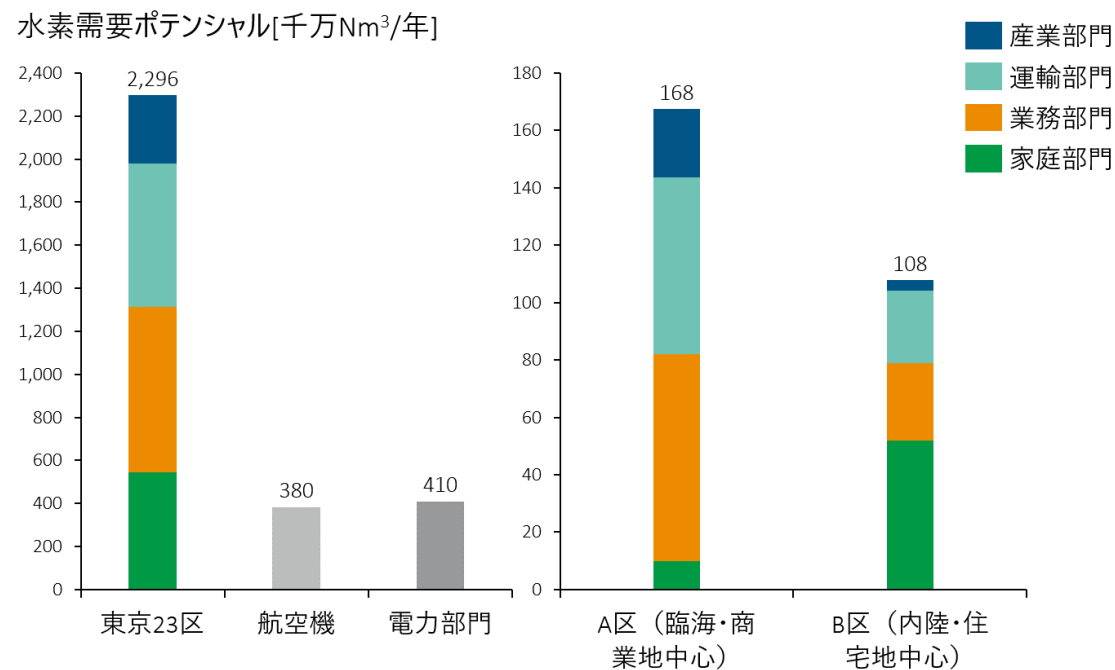
羽田空港及び周辺地域における
CO₂フリー水素利活用モデルのイメージ



※ GSE車両：航空機地上支援車両

特別区における水素を中心とした クリーンエネルギー利活用推進研究 (特別区長会調査研究機構)

特別区内における水素需要ポテンシャル調査結果



※航空機・電力部門は特別区の管轄ではないため分けて記載している

